

3年生の声②

帯広市立第四中学校出身

【マネージャー】

このたび希望していた十勝管内の町村職員として、内定をいただくことができました。

私は高校に入学してから、公務員を目指すようになりました。目指した理由の1つに、野球部のマネージャーを経験して「人に奉仕すること」を学び、経験することができたことがあげられます。公務員という全体の奉仕者である職は、希望者も多く、筆記試験、面接試験、集団討論などたくさんの試験や面接をこなさなければなりません。正直、気が滅入りそうになるときもありましたが、監督・部長ともに、忙しい中でも熱心に面接練習や集団討論のアドバイスなどをしてくれたおかげで、将来の夢を叶えることができました。

マネージャー業務はグラウンド周辺のゴミ拾いから始まり、多くの先輩たちが築き上げてきた設備環境を維持することや、試合におけるスコア記入などです。それらの仕事を通して、監督から人のために奉仕することの真意や、誠意をもって一つ一つの仕事をする大切さを学ぶことができました。また、様々なことを学ぶたびに、新たな気持ちで仕事に取り組むことができ、1年生の頃とは違い、3年生になると野球部の活動の全てが、私にとって「意味のあること」に大きく変わっていました。

監督から一番言われ続けた言葉として「やりたい仕事と求められている仕事は違う」という言葉がありました。この言葉を理解し、実践することができるようになったことが、自分として一番成長した部分だと考えています。このことは、社会人となってからも通用することだと思っていますので、これからの生活の中で活かしていきたいと思います。勉強面においても、検定やテスト前には野球部の勉強会を行っています。このおかげで、忙しい活動ながらも、定期テストでは学年20番以内を保ち、全商検定1級を6種目取得することができました。このように私は3年間、南商野球部で文武両道を実践し、たくさん

のことを学び、社会を歩んでいける力をつけることができましたと考えています。私を大きく成長させてくれた南商野球部、監督、部長、OB・OGの方々、1番近くで見守り、支えてくれた家族をはじめ、関わってくれたすべての方々に感謝しています。南商野球部で野球だけではなく、自分自身を大きく成長させたいと思っている中学生のみなさん、ぜひ南商野球部で頑張ってみませんか。

(OB戦で打席に立つ3年生マネージャー)

